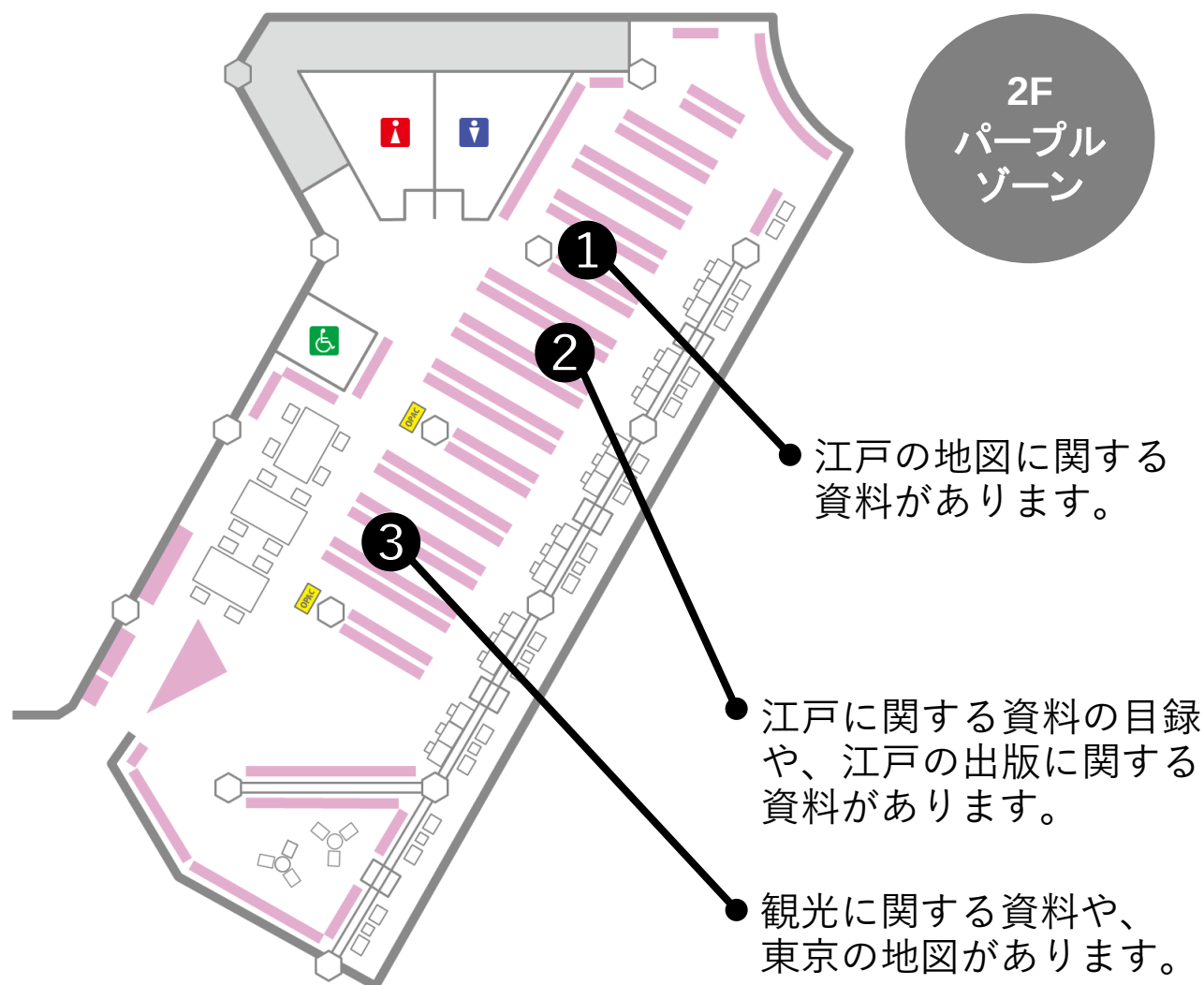


江戸時代の地図を探す

2014年3月作成
2024年10月更新

日比谷図書文化館では、江戸に関する資料を集めたコーナーがあります。ぜひご活用ください。



■本で探す

◆館内検索機（OPAC）で探す

プルダウンで検索語を「キーワード」にして「古地図 江戸」または「切絵図 江戸」と検索すると、関連書籍を見つけることができます。

■どのような地図があるのか知る

日比谷図書文化館 特別研究室所蔵 江戸・東京地域資料リスト

特別研究室では、江戸・明治期以降に発行された古地図や古文書などをご覧いただけます。所蔵リストは千代田区立図書館HPから確認することができます。

日比谷図書文化館 江戸・東京の地域資料

検索

本のある
場所

日本書誌学大系 11 江戸図総目録

【E020.8】

岩田豊樹／青裳堂書店／1980年

※館内閲覧のみ

2

図内容の年代順に並べられた目録です。探している年代の地図はどのようなものがあるのか知ることができます。版元別五十音順索引あり。

■武家屋敷の場所を探す

江戸城下変遷絵図集 1～20巻, 別巻1～2巻

【E291.3】

幕府普請奉行 編／原書房／1985～1988年

※館内閲覧のみ

1

その土地に住んでいた武家の移り変わりを確認できます。別巻に人名索引あり。

5千分の1 江戸ー東京市街地図集成 1657(明暦3)年～1895(明治28)年

地図史料編纂会 編／柏書房／1992年

※館内閲覧のみ 【閉架書庫5層 291】

時代の変遷を追って見ることができる大型地図です。閉架書庫の資料のため、閲覧をご希望される場合は2F図書総合カウンターにお申し出ください。

■今と昔を重ねて見る

大江戸今昔マップ 東京を、江戸の古地図で歩く

【K291.36-カミ】

かみゆ歴史編集部／KADOKAWA／2014年

3

切絵図の上に現在の道路や路線、施設を記載し、江戸時代の面影を残す地理や史跡が紹介されている重ね地図です。地名・駅名索引あり。

復元・江戸情報地図

【E291.3】

吉原健一郎 ほか 編・制作／朝日新聞社／1994年

※館内閲覧のみ

1

江戸幕府公文書等の史料と、明治期に作成された実測地図資料から安政期の市街の地勢を復元し、更に平成の東京の実測地図を重ね合わせた地図です。人名・公儀・寺院・神祇・現代ランドマーク索引あり。

江戸切絵図について知る

本のある
場所

新・江戸切絵図 嘉永・慶応 時代小説の舞台を見に行く

人文社／2010年

【E291.3-シン】

1

切絵図の特徴が説明されています。多色刷りの尾張屋版江戸切絵図をもとに、時代小説の舞台を知ることができます。大名屋敷・地名索引あり。

江戸切絵図と東京名所絵

白石つとむ 編／小学館／1993年

【E291.3】

※館内閲覧のみ

1

切絵図と、その地域の「実測東京全図」（明治11年）、名所絵、解説が掲載されています。大名屋敷・地名索引あり。

◆切絵図について

版元	出版年・発行年数	枚数	特徴	需要
吉文字屋板 (美濃屋板)	宝暦5年 (1755) 安永4年 (1775)	8枚 (未完)	しょし書肆(本屋)の吉文字屋と美濃屋が合同で出版。	時期が早かったのか売れなかった。
近吾堂板 (近江屋板)	弘化3年 (1846) 安政3年 (1856)	37枚で 完成	方位・縮尺・形はまちまちで重複も見られるが、武家・町人を問わず便利なように、経済圏や地形的なまとまりがあり、きわめて実用性の高いものだった。	多色刷りで大変需要が多かった。
尾張屋板	嘉永2年 (1849) 文久3年 (1863)	30枚揃 を発行		6～7色刷りで美麗。江戸土産としても人気があった。
平野屋板	嘉永5～6年頃 (1852～1853) ※刊記はない	3枚 (未完)	正確な実測図を元にした大絵図を分割し、正しい方位、縮刷を企図したもの。	実用性に欠け、売れなかった。

※この表は下記の図書を参考に作成しました。

江戸切絵図集成 1～6巻

斎藤 直成 編／中央公論社／1981～1984年

【E291.3】

※館内閲覧のみ

1

第1巻 吉文字屋板／第2・3巻 近江屋板／第4・5巻 尾張屋板／第6巻 平野屋板
切絵図を刊行順に収録し、各板についての解説もあります。第6巻に人名・地名・寺院・社祠索引あり。

江戸の地図屋さん 販売競争の舞台裏

俵 元昭／吉川弘文館／2003年

【E291.3】

1

江戸図の当時の出板事情や系譜などが掲載されており、江戸図の変遷について知ることができます。

■インターネットで探す

◆国立国会図書館デジタル化資料から探す

国立国会図書館デジタルコレクション

検索

武州豊嶋郡江戸庄図

寛永9（1632）年頃

俗に「寛永図」とも呼ばれ、刊行された江戸の都市図の中で最も古いものとされています。絵図と称されるものであり、方位縮尺などは不正確です。

新添江戸之圖

明暦3（1657）年

明暦の大火以前の江戸を見ることができる江戸図です。デジタルコレクションにて閲覧できるものは、「干時明暦三丁酉年正月吉辰 板本 江戸日本橋二丁目 太郎右衛門」の刊記を持つ図の後年の写しです。

新板江戸大絵図

寛文10（1670）年

実測により縮尺も記した絵図で、4枚の「新板江戸外絵図」と合わせて、「寛文五枚図」とも呼ばれています。後に江戸都市図の根幹とされる絵図です。

尾張屋板江戸切絵図

嘉永2－文久2（1849－1862）年

嘉永年間刊行図を中心とする尾張屋板江戸切絵図28図を見ることができます。

◆江戸図の変遷について知る

東京都立図書館 江戸図の変遷

検索

江戸時代初期は簡略な絵図が作られていましたが、町の発展に伴い、情報量の多い大絵図が作成されるようになりました。東京都立図書館が所蔵している江戸図からその変遷が分かるものを、デジタル化された絵図と共に解説を読むことができます。

日比谷図書文化館

〒100-0012 千代田区日比谷公園1番4号 ☎ 03-3502-3343（図書総合カウンター）

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>